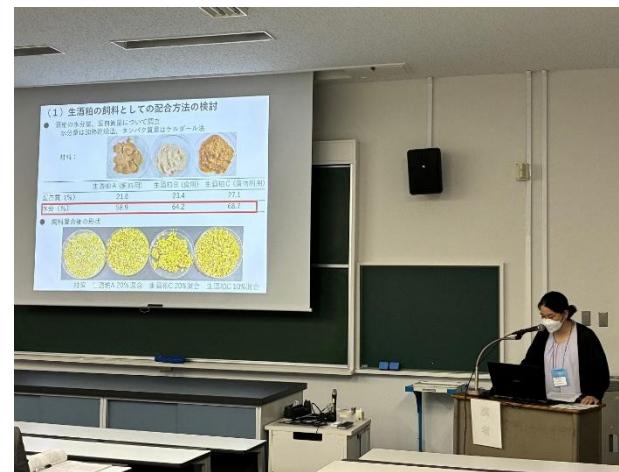


令和7年度獣医学術近畿地区学会にて研究成果を発表

10月12日に、大阪公立大学中百舌鳥キャンパスにおいて獣医学術近畿地区学会が開催されました。当センターからは「京都独自の和牛ゲノム能力評価手法の確立」、「鶏の安価な蛋白質飼料原料としての生酒粕の可能性」の2題を発表し、いずれも奨励賞を受賞しました。

フロアからは、和牛肉評価手法の京都府としての独自性に関する質問や「生酒粕を混合した飼料は35°Cの条件下でどれくらいの期間保存が可能か」といった質問が寄せられ、関心の高さが伺われました。

当センターでは、今後も畜産農家に役立つ研究を行い、研究成果の社会実装に向けた取り組みを進めていきます。



成果を発表する研究員